

授業科目(ナンバリング)	社会福祉調査の基礎 (DB302)			担当教員	斐 孝承		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	3 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
社会福祉調査は、社会のありようを客観的に認識するための方法である。本授業では、ディプロマポリシーに則り、社会の課題を情報収集し、分析するための専門的な能力を身につけ、そのことを自己及び社会の成長に役立てることができるソーシャルワーカーに必要なとされる社会福祉調査の知識と方法を学んでいく。具体的には、 <u>社会調査の意義と目的、社会福祉調査と社会福祉の歴史の関係、社会福祉調査における倫理や個人情報保護についての理解をはじめ、量的調査・質的調査の方法及び調査の結果、ソーシャルワークにおける評価の意義と方法についての理解を深めていく。</u>							①④⑤⑥⑦⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	社会福祉調査に関する基礎的な用語・概念を説明できる。 量的・質的調査の手順について説明することができる。				定期試験	30%	
情報収集、分析力	調査データを類別し、各種収集・分析方法について理解できる。				定期試験 小テスト	30% 10%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	社会福祉調査を計画・実施できる。				調査実習 小テスト	10% 20%	
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
調査実習（10%）では、質的及び量的調査の課題レポート及びグループ発表などで評価する。評価基準は、調査計画及び調査手段、その結果の適切さと発表の適切さである。定期試験（60%）は、社会福祉調査の計画、実施、集計と分析、結果の解釈という一連の過程で必要とされる基礎的知識や概念の理解度を確認する（持ち込み不可；再試験を受ける場合は、必ず事前に教員に相談すること）。小テスト（30%）では、学習した用語・概念の理解度を問う。必要に応じて、授業内でフィードバックを行う。なお、不適切な授業態度（教科書を持参しない、遅刻、私語、携帯電話等の使用、居眠り等）は、発覚した場合に減点の対象となる。							
授 業 の 概 要							
基本的には講義形式で授業を進めるが、実際に社会福祉調査を体験してもらうためのグループワーク（調査実習）を通して、ディベートとディスカッションを行い、最終的に、プレゼンテーションを行う。社会福祉士国家試験の過去問題も取り入れる。社会福祉調査の一連の流れは経験により身につくものなので、実際の調査設計を調査実習で体験することにより、理解を深める。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編集）（2021）『社会福祉調査の基礎』中央法規。 参考書：大谷信介ほか編（2013）『新・社会調査へのアプローチ ― 理論と方法』ミネルヴァ書房。 指定図書：最新社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座編（2021）『社会福祉調査の基礎』中央法規。							
授業外における学修及び学生に期待すること							
グループの調査実習では講義の時間外における活動も必要とされる。調査テーマの策定、調査方法の決定、調査の実施に至るまでの全過程は、グループ毎に主体的に行うものであるため、実習には積極的に参加することが求められる。また、出席管理に影響するため、教員が示す座席指定表に従って座ること。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション 社会福祉調査の意義と目的①	科目全体の説明を経て、社会福祉調査の概要とソーシャルワークとの関連について学ぶ。	予習：シラバスの熟読 と科目イメージの形成 復習：教科書 1-9 頁
2	社会福祉調査の意義と目的②	社会福祉調査の歴史と統計法について学ぶ。	予習：教科書 10-19 頁 復習：小テストの準備
3	社会福祉調査のデザイン①	社会福祉調査の考え方と論理とについて学ぶ。 小テスト①	予習：教科書 21-40 頁 復習：小テストの準備
4	社会福祉調査のデザイン②	社会福祉調査の目的と対象、データ収集及び分析、進め方について学ぶ。 小テスト②	予習：教科書 41-44 頁 復習：小テストの準備
5	量的調査の方法①	量的調査の概要及び種類、母集団と標本抽出について学ぶ。 小テスト③	予習：教科書 55-62 頁 復習：小テストの準備
6	量的調査の方法②	横断的・縦断的調査、質問紙の作成の留意点について学ぶ。 小テスト④	予習：教科書 63-108 頁 復習：発表の準備
7	量的調査の方法③	配布及び回収、4つの尺度、集計及び分析について学ぶ。 小テスト⑤	予習：教科書 63-108 頁 復習：発表の準備
8	量的調査の方法④	量的調査の集計プロセス及び分析、データの可視化について学ぶ。 小テスト⑥	予習：教科書 63-108 頁 復習：発表資料の加筆修正と提出
9	質的調査の方法①	質的調査の概要と種類について学ぶ。 小テスト⑦	予習：教科書 109-114、 125-129 頁 復習：小テストの準備
10	質的調査の方法②	質的調査の進め方、データの記録及び分析について学ぶ。 小テスト⑧	予習：教科書 115-124、 130-156 頁 復習：発表の準備
11	調査実習	量的・質的調査実習を行い、グループワークとして取り組んだインタビューガイド作成についてプレゼンテーションと面接調査のロールプレイを実施する。	予習：発表の準備 復習：発表資料の加筆修正と提出
12	ソーシャルワークにおける評価①	プログラム評価の概要と必要性について学ぶ。小テスト⑨	予習：事前配布資料 復習：小テストの準備
13	ソーシャルワークにおける評価②	プログラム評価の対象と進め方について学ぶ。小テスト⑩	予習：事前配布資料 復習：小テストの準備
14	ソーシャルワークにおける評価③	プログラム評価の種類と方法について学ぶ。	予習：事前配布資料 復習：小テストの準備
15	社会福祉調査における倫理と個人情報保護 まとめ	社会福祉調査において求められる倫理的な配慮と個人情報保護の原則について学び、各回で学んだ事項のまとめを行う。 小テスト⑪	予習：教科書 157-164 頁 復習：定期試験の準備
16	定期試験		